

月刊田中けんの感想などをお寄せください。その中から匿名にて紹介いたします。いただいた文章は、紙面の都合上、任意で編集してから掲載することもあります。事前に、ご了承ください。

ご連絡は、e-mail・封筒・ハガキで受け付けます。FAX対応はしておりませんので、ご注意ください。率直な御意見、お待ちしております。

弁護士による無料法律相談を受付中

詳しくは、田中けん事務所までお問い合わせ下さい。

田中けんの実績

学校が禁煙になりました!!

長年、主張してきた学校での禁煙が平成16年4月1日付で実現しました。これまでは、教師さえ禁煙していれば良かったのですが、今後は、PTA・地域の方々・議員など、来賓扱いで、学校を訪れる方々も含め、全ての人が禁煙の対象となります。そこに例外はありません。これからも、子どもたちをタバコの煙から救う活動を続けてゆきます。

区立学校等における受動喫煙対策 (文教委員会資料より抜粋 平成16年4月9日 教育委員会)

	幼稚園	小学校	中学校	計
分 煙	5	64	33	102
建物内禁煙	1	5	0	6
敷地内禁煙	0	4	0	4

平成15年6月調査

	幼稚園	小学校	中学校	計
分 煙	3	58	33	94
建物内禁煙	3	11	0	14
敷地内禁煙	0	4	0	4

平成16年2月調査

平成16年4月1日より
建物内禁煙実施
教育長通達

平井駅前の灰皿が撤去されました!!

3月1日発行の月刊田中けんでも取り上げましたが、平井駅前の灰皿撤去が、3月8日付で実現しました。平井駅の駅長さん、ありがとうございました。

北口



南口



禁煙政策における新たな目標!!

- ◆視察中移動中のバスの中などの禁煙と視察先での会議中における禁煙を求めます。
(区議会は、まだ完全禁煙とは言えません)
- ◆駅前の喫煙・ポイ捨ての禁止条例を求めます。
(主要な駅前からは灰皿が撤去されました。千代田区を見習います)
- ◆タバコ自動販売機の撤去を求めます。
(タバコは、酒・成人向け図書同様に、対面販売でなければなりません)
- ◆禁煙したい人の支援を行います。
(吸っている人も、吸わない人も含め、区民の健康を守ります)

年金未納をめぐる議論のいやらしさ

ここ一連の年金未納をめぐる議論のいやらしさや矛盾や私のいきどおりを順次あげていく。

1. 年金未納は本当に悪いことなのか。ものごとの一貫性から言えば、未納議員に罪があれば、未納国民にも罪があるし、未納議員に罪がなければ、未納国民にも罪がない。未納議員は有罪で、未納国民は無罪という差別を私はしない。

2. 年金の支払い情報は公表すべきか。年金未納が、それほどまでに悪いことならば、議員に限らず一般国民についても支払い状況を公表させるべきではないか。

3. マスコミ関係者をはじめとして「未納はけしからん」と言っている側にも未納者はいる。年金報道に関わるマスコミ関係者も「けしからん」という国民も、自らが一片も曇りもない支払い者であることを確信した上で、発言しているのだろうか。表面上は誰もが「優等生」であろうとするいやらしさが、そこにはある。

4. 未納が重罪であるかのように、今、未納への批判は「踏み絵」として機能している。未納を批判することで、暗に自分は支払っていることを証明しているかのような態度にいやらしさを感じる。これは、閉じられた教室の中で、「いじめる側」と「いじめられる側」がいて、本来これに関係ない者でも、「いじめる側」に味方しないと、自分が「いじめられる側」になるかもしれないという恐怖から「いじめる側」に荷担してしまう心理構造によく似ている。未納者は40%もいるのだ。それなのに人は自分が被害者になりたくないばかりに、加害者となり集団リンチを引き起こし拡大させる。

5. 未納議員に対する批判は、必ず未納国民にも跳ね返ってくる。未納がそれほど悪いことならば、未納国民は、強制徴収を前提とした年金制度を求めているのだろうか。それこそ、悪しき年金制度をますます悪くするだけである。未納議員に対する追求はほどほどが良い。きっとそのつけは、未納国民に対して、厳しい形で戻ってくるだろう。

6. 今までは、国民年金を支払わないことも選択肢の一つという解釈が当たり前だった。それが、年金未納の責任を取り、役職を辞任する政治家が相次いだ。これによって年金未納とは「選択肢」ではなく「悪いこと」になってしまった。この価値観を作り出すことこそ、社会保険庁の目的だったのではなからうか。年金流用を続け、私腹を肥やしている役人の笑顔が目につく。

7. 年金には、加入者が老後を幸せに暮らせる「幻想」と労働者は高齢者を養う「使命」が混在している。それに未加入だと年金がもらえなくなる「恐怖」もある。「絶対に儲かりますよ」という電話の勧誘ほど怪しいものは無いが、年金もほとんどそれに近い。だからこそ、加入を拒否するのだが、そうすると「使命」という理由を持ち出し強制加入だとか、国民の義務などという。拒否する自由がない儲け話など信用できるはずがない。その内、強制徴収という「恐怖」で私たちは脅されることになる。

8. これからの日本では、お年寄りが増え若者が減る。将来は、年金の掛け金が上がり、もらえる額は少なくなる。それなのに、年金への課税は増やすという。65歳からではなく、もっと高齢にならないともらえない制度に変えるという。このような条件で、

どこをどのように計算すれば、年金が得する制度などと若者に言えるのか。これは典型的な詐欺ではないのか。

9. 土壇場で自分が助からないと悟ったときに、せめて他人だけは助かって欲しいと思う人と、せめて他人を「道連れ」にして共に苦しもうとするタイプに人の性格は分かれる。未納に対する批判には、このように「道連れ」を望む心理が働いている。本当は払いたくないのに、払わされているという恨みが、批判を鋭くさせる。そうでなければ、得だと言われて支払っている加入者が、未納者に対して「ずるい」という言葉を投げつけるはずがない。加入者も実は自分たちが損をしていると思っている証拠に他ならない。

10. 「使命」がそれほど大切ならば、なぜ年金を税金で集めないのか。憲法からして、納税は確かに国民の義務だ。でも今の年金は税金ではない。この一点をもってして、未納者に対する強制徴収は論理的にできない。税金でないお金だからこそ、役人の裁量権は広がり、厳格さが無くなり役人の私的な年金流用が行われている。それなのに、取り立てるときだけは「税金」のふりをする。時には「税金」時には「税金ではないお金」という性格をたくみに使い分けている年金は本当にいやらしい。

11. 今の国民年金は、所得に関係なく1人あたり13,300円(平成14年度)を支払わせている。この定額納付という特徴からして、これは所得に関係なく課税する悪名高き「人頭税」ではないか。

12. 菅直人に対する批判の中で、「江角マキコがかわいそう」とか「江角マキコに謝れ」という意見が出た。見当違いもはなはだしい。マキコの「罪」とは彼女の未納と関係ない。マキコのセリフをもう一度思い出して欲しい。「保険料納付は、みんなの義務です」「将来、泣いてもいいわけ?」「国民年金がもらえなくなるかもって言ったの、誰?」である。このセリフが、社会保険庁の意向であることは明らかだが、だからといってマキコが免罪されるわけではない。依頼者と殺し屋の関係よろしく、社会保険庁が依頼者ならば、マキコは殺し屋の立場である。依頼者の罪が重いのは当然としても、実行犯である殺し屋が、だからといって免罪されるわけではない。それと同じで、依頼された仕事とは言え、国民を脅した時点でマキコの「罪」は成立している。一芸人でありながら、何の根拠もなく、年金制度の将来性をCMの中で保証したことで、マキコの「罪」は成立する。当然、年金が破綻したとしても、マキコ個人が私財によって、その保証などできるはずもなく、できるはずもない人間が、無責任に「絶対もらえる」などと言った時点で「罪」は成立している。マキコに対する批判は、女優という本分を忘れ、マキコがいい加減なアルバイトをした当然の結果だと言える。かわいそうなのは脅された国民の方だ。

13. サンデープロジェクトというTV番組に出演している田原総一郎は、菅直人に対して、未納への批判を醜いまでに展開し追いつめた。「江角マキコや未納三兄弟扱いした各閣僚に対して謝れ」とか「言い訳をすればするほどだめだ」とか、とにかく菅直人に弁明の機会を与えることはなかった。何度も、菅直人が弁明しようとしてもそれを許さず、背後の出演者共々、公開リンチと言えるほどの口汚さで追いつめた。もし私が、菅直人だったら、総一郎に対して、きつとこのように聞いただろう。「おまえは国民年金を支払っているのか」と。結局、総一郎も未納だったことが、後ほど発覚する。未納を理由に「辞めろ」と追った人間が、自分も同じ立場に立ったとき「(テレビ番組を)辞めないでがんばる」では筋が通

らない。このような偽善者で恥知らずな人間を私は知らない。明らかなる失態に対して、誠心誠意謝ろうともしない。このような電波芸人を平気で使い続けるテレビ朝日の見識を疑う。総一郎は70歳だという。70歳の恥知らずを引退させられないほど、TV局には代わりの人材はいないのか。

まず区民に対してお伝えしなければならないことがある。私は国民年金を支払っていない。それも「つい」とか「うっかり」とかというレベルではなく、意図的かつ確信的に払っていない。

『つい』とか『うっかり』などは、誰にでもあることで、意図的ではないのだから、未納議員にそれほどの罪はない」

このような意見がマスコミにはあった。それに従えば確信犯の田中けんは、罪深い人間ということになる。偉そうなことを言うと後が大変なのだが、それに対して、田中けんは次のように理想を語る。

「政治家の言動は、自信と信念に裏付けられたものでなければならない。常にその言動を公表し、世間がそれを許さないとすれば、その批判は甘んじて受け入れよう。『つい』とか『うっかり』などという言動は、緊張感が足りない証拠で、政治家の言い訳としては相応しくない」

よって、私は年金未納そのものを批判する立場にない。私がここで批判するのは、今の年金制度そのものと、年金未納に関して明らかになった偽善に対してである。だからこそ、私は未納という同じ立場でありながら、田原総一郎の偽善を激しく批判したのだ。

聖書に姦淫した女の話がある。有名な話なので、ほとんどの読者をご存知だろう。イエスキリストの時代、夫がいる女にとって、他の男とセックスすることは犯罪だった。当時、このような犯罪者には、みんなで石をぶつけて殺すのが規則だった。

規則は守らなければならない。しかし、このような女のように、貧しく虐げられている人を救うのが、イエスキリストの使命でもあった。このとき、イエスキリストは女を殺そうとして集まった民衆にこう言った。

「あなたたちの中で、今まで罪を犯したことがない者がいれば、この女をぶちなさい」

石を投げつけ、女を殺そうとしていた民衆は、イエスキリストの言葉を聞き、一人、また一人と石を置き、その場を去っていったという。

それでも、石を持ち、女を殺そうとする民衆が日本には多いと思っているのは私だけだろうか。

小泉内閣における竹中平蔵金融・経済財政政策担当大臣のブレーンの一人に木村剛氏がいる。氏の主張はおもしろい。

年金脱退権を認めろ。

厚生労働省の「試算」に基づく見通しは詐欺だ。

**保険料を支払う方が「得」だというのは嘘だ。
年金制度はネズミ講だ。**

特に「年金脱退権」とは愉快的な話だ。そうなれば文字通り、年金は「払わなくても良い」制度となる。私の主張は「払うな」ではない。払うか払わないかは、個人の自由意思による選択に任せ、誰かに強制するつもりもない。払えばもらえる。払わなければもらえない。それだけだ。それなのに今の年金制度は、払っても(少ししか)もらえない。払わないことは許されない。それでいて税金でもない。だから問題があると訴えている。

私自身は自主的に年金を脱退し、払わない選択をして現在に至っている。地方といえども私も議員の一人である。この事実を有権者に公表し、私の政治的意図を充分加味した上で、ご判断いただきたい。多くの批判を頂戴するだろうが、年金不払いとは、それがそのまま、私にとっての年金制度を変えさせるための政治活動なのだ。制度が変わることなく、私がこの立場を曲げることはない。

当然、私も含む一般の未納国民のすべてが、自分の未納を反省しているとは、私には到底思えない。またその必要もない。最初に反省すべきは、未納国民の側ではなく、このような欠陥制度を作った社会保険庁を中心とする役人たちの方だ。年金資金を私的生活に流用して、やりたい放題の役人を放置して、未納国民を犯罪者扱いすることこそ、本末転倒だとの思いだ。

もしも、世間一般の人たちが、すべて律儀で、真面目で、うっかりミスなどしない完璧な人たちばかりであれば、未納者もなく、年金の問題点が表面化することはなかっただろう。律儀でもなく、ちょっと不真面目で、うっかりミスもしてしまう普通の一般国民が日本にいたからこそ、年金が問題であると、世間に知れ渡ったのだ。未納国民こそ、この制度の欠陥を告発した功労者だ。私は未納者が増えたことを肯定的に受け止めている。

政治は政治家に任せられない。信用できない。だからこそ、制度に対して直接的な不信任をした行為が「未納」なのだ。若者の年金不払いは、国に対するストライキだ。

私は国民による自らの身を賭して(将来、年金がもらえなくなる可能性があるにも関わらず)行う「支払い拒否」という方法による政治への直接参加を肯定する。自発的に考え行動する国民が増えてこそ、この国はきっとよくなるであろう。

今の制度のまま年金を支払い続けることは、穴の開いたバケツに水を汲み続けるようなものだ。今こそ、年金の支払い拒否を高々と宣言し、多くの国民が、この年金制度に対して、より多くの不信任を突きつけることを、私は期待している。

田中けんの写真日記



写真は、卒業証書を手にして先生方と一緒に写した様子です。

5月7日(金)

GWを利用して、タイへ行ってきました。現地では、タイ式マッサージを勉強して、中級コースを卒業いたしました。これを機に、私もプロのマッサージ師として働きます。1時間6,000円から受け付けますので、ご用の方は、お気軽にご連絡ください。

☎ 03-5662-7755



5月16日(日)

以前から親交がある大森俊和氏の集會に参加しました。葛飾区が主な政治活動の場所となっている大森氏は来年、新たなるチャレンジをするそうです。葛飾区在住の方がいらっしゃいましたら、是非、注目してください。



5月22日(土)

江戸川倶楽部主催の対話集會を、篠崎コミュニティホール第3集會室にて行いました。参加者は4名でした。

江戸川倶楽部主催 イベントのご案内

カラオケ大会

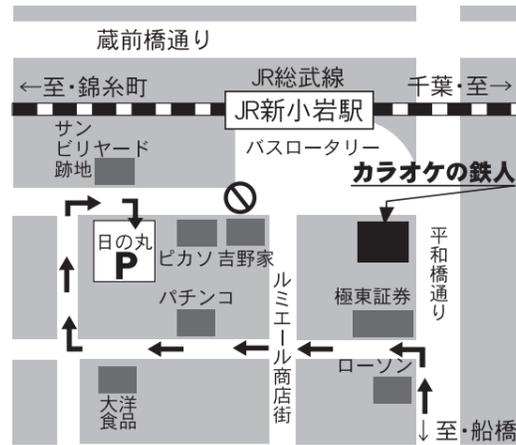
■日時 **6/6 (日)** 午後12時30分～午後5時

■場所 カラオケの鉄人 新小岩店317号室

■参加費 1,500円

◆ソフトドリンク飲み放題。アルコール・お食事については各自による別会計でお願いします。
◆当日、室内は禁煙とさせていただきます。ご協力お願いいたします。

葛飾区新小岩1-48-11 電話 03-5661-2323



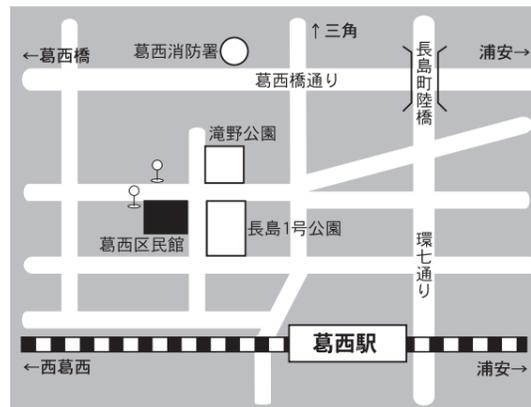
対話集会

■日時 **6/12 (土)** 午後5時～午後7時

■場所 葛西区民館 第3集会室

■参加費 無料

江戸川区中葛西3-10-1 電話 03-3688-0431



対話集会

■日時 **6/20 (日)** 午後1時～午後4時

■場所 南小岩コミュニティ 第1集会室

■参加費 無料

江戸川区南小岩7-17-10 電話 03-5668-2241



上記イベントへのご参加・お問い合わせは **江戸川倶楽部 ☎ 03-5662-7755** または **E-mail: club@t-ken.jp** まで

※参加希望の方は、事前のご連絡をよろしくお願い致します。

以降の予定

- | | | | |
|-------------|-----------------|---------|----------------------|
| 対話集会 | 7/31 (土) | 13時～16時 | 東部区民館 集会室さくら 無料 |
| 対話集会 | 8/1 (日) | 13時～16時 | 新田コミュニティ会館 第1集会室 無料 |
| 対話集会 | 9/11 (土) | 14時～17時 | 小松川さくらホール 第3集会室 無料 |
| 対話集会 | 9/12 (日) | 16時～19時 | 篠崎コミュニティホール 第3集会室 無料 |

読者からのお便り

10号をお読みにになった方よりお便りを頂きました



前略
数年前になにげなくつぶやいた月曜日開館が実現されとてもうれしく思っております。
図書館にはいろんな夢や希望がいっぱいつまっております。3月の「広報えどがわ」で月曜開館の記事を読み、田中さんの顔をすぐ思い浮かべました。私達区民の小さな声を大切にしている姿勢にびっくり感激しました。明るい笑顔と大きな声でこれからも健康に気をつけて活躍下さい。応援しております。

高速道路を無料にしよう!

江戸川区議会議員

田中けん

自宅事務所

〒132-0021 江戸川区中央4-25-14
電話 03-5662-7755
E-mail info@t-ken.jp



プロフィール

1966年1月6日 江戸川区生まれ
第三松江小学校卒 松江第三中学校卒 墨田川高校卒 千葉大学教育学部卒
1995年4月 江戸川区議会議員選挙当選 (2,789票・41位)
1999年4月 江戸川区議会議員選挙当選 (4,282票・16位)
2001年6月 東京都議会議員選挙落選 (12,394票・8位)
2003年4月 江戸川区議会議員選挙当選 (4,103票・15位)
ホームヘルパー、江戸川トライアスロン連合会長、フリーウェイクラブ副会長
江戸川区議会「一人の会」幹事長

http://www.t-ken.jp/

「月刊田中けん」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。